

平成20年度 金閣小学校 校内研究の基本構想

学校教育目標

「学ぶ意欲と豊かな人間性を持ち、心身ともにたくましい金閣の子」

～人を大切にし 人と力を合わせ 粘り強くやりぬく子～

目指す子ども像

- ・しっかり聞きしっかり話せる子
- ・笑顔であいさつのできる子
- ・約束やきまりを守る子
- ・健康や安全に気をつける子

全教育活動における校内研究テーマ

知育・徳育・体育の全分野にわたって

金閣の子どもたちの全面的な発達をめざす

1. 研究の基本構想

今年度は学校教育目標の実現をめざし、「金閣の子どもたちを劇的に変えるための実践」の2年目を迎えます。金閣の子を劇的に変え成長させるためには、知育・徳育・体育の全分野にわたって新たな取組を行い、子どもたちの全面発達を保障することが求められています。

そのためには、「基礎基本の充実」「学習規律、学びの規律の確立」「授業改善の取組」「しなやかな心と体をつくる取組」「社会的道徳心と自治的意識の高揚と育成の取組」を一体のものとして研究する必要があります。

本年度の研究対象に、「社会的道徳心と自治的意識の高揚と育成の取組」を加えたのは、「目指す子ども像」の実現には、「社会的道徳の育成」と共に「自治的意識の高揚」と「自治的能力の育成」が不可欠であると考えたからです。研究分野としては、「コミュニケーションの第一歩としての挨拶の実現」「自治意識としての当番活動や清掃指導の在り方」などを付け加えています。

研究教科としては、昨年度に引き続き国語科を取り上げて授業研究を行います。昨年度の公開授業および校内研究授業の到達点は、概ねステップ3『教師の発問に一人ひとりが答えを用意し、友だちの意見に反応しながら授業が受けられる』のレベルであったと考えます。これをステップ4『その場その場の学習課題を理解し、教師の発問や友だちの意見に響き合った発言ができ、自分の活動についての自己評価ができる』更には、ステップ5『学習課題

をもって授業に参加し、教師・友だちと共に授業をつくることができる。自分の意見や友だちの意見を大切に、課題を深める発言ができ、授業づくりについての評価ができる』までに高めていきたいと目標設定しています。

そのためには、国語の力の育成と共に「自分たちの授業をよりよいものにする」「自分たちのクラスをよりレベルの高いクラスにしよう」という自治的意識に裏づけられた学級づくりを課題とする必要があります。したがって、本年度の授業研究および指導案にはコミュニケーション能力をどのように高めたか、自治的意識をどう育成したかを、「学級づくりの取組」として児童観に反映させ、その研究を深めていきます。

学校教育目標の実現のために、「授業づくり」「学級づくり」「学年づくり」「学校づくり」が有機的に結合し、大きな力を発揮するように、また全教職員が自分の研究課題を設定し、深めていくようにします。

2. 研究と担当部の関係及び研究委員の任務

(1) 研究課題と担当部との関係

それぞれの担当部長あるいは部員は校務分掌上では日常の活動を行いながら、研究課題については研究委員会に参加し研究を深める中、研究主任と連絡をとってその課題を実行する。研究をまとめ、冊子に研究の成果を載せる。

(2) 研究委員の任務

1. 研究の全ての分野を把握し、クラスや学年の子どもたちの全面的な発達・成長を保障し研究全般を牽引すること
2. 授業改善の取組として、国語科の授業研究を行なうこと
3. 学年研究推進の中心となり、学年の授業研究を充実させ公開授業を準備運営すること
4. 学年研究を深め、冊子に文章化して発表すること

3. 校内研究課題

1. 基礎学力実態調査とさかのぼり学習の取組

(基礎学力として計算力と漢字力の育成を図る)・・・・・・・・・・学力向上チーム

<計算力>・・・・・・・・既習の計算の完全習得をめざす

- ・4月に計算力実態調査を行い、4月・5月を計算月間として朝学習の時間に

取り組む。早くできた子は読書をする。

- ・ 5月末に実態調査2回目を行い、その進捗を確認し学年だより等で知らせる。
- ・ 9月にも計算月間を行い、9月末に実態調査を行い、定着状態を確認する。

<漢字力>・・・既習の漢字の完全習得をめざす

- ・ 4月に漢字習得実態調査を行い、前学年の全漢字の習得数を調べる。
2月のはじめに学年漢字習得実態調査を行い、2月を漢字月間として朝の時間に取り組む。(網羅的学習)
- ・ 2月末に実態調査を行いその進捗を確認する。

◇朝学習の時間(8:40~8:50)を以下の運用とする

- 計算月間・・・4月, 5月, 9月
- 漢字月間・・・2月
- 読書月間・・・6月, 7月, 8月, 10月, 11月, 12月, 1月, 3月

2. 健康な子の育成・しなやかな体と心・・・・・・・・・・体育的行事部・保健部

(1) 体育的行事部…「きらきらタイム」体育の運営とその研究

○きらきらタイムをクラス3等分して恒常的に運営し、しなやかな体と心の育成を図る

- ・ 月4週としてA・B・Cグループでの年間計画の作成
- ・ 種目の確定, 子どもたちの進捗と意識の分析など

(2) 保健部…金閣の子の心と体、運動についての調査と提言

3. 勤労と責任を重んじる心の育成・・・・・・・・・・勤労生産部

○掃除分担計画及び清掃指導を徹底し、勤労と責任を重んじる心の育成を図る

- ・ 「自治意識を基とした掃除指導のあり方」などの調査提言

4. 社会的道徳及び自治意識の高揚と育成の取り組みとしての「挨拶運動」の推進

・・・・・・・・・・生徒指導部 特別活動

5. 「学級づくり」の取組・・・・・・・・・・研究委員会

- ・ コミュニケーションの第一歩としての挨拶の大切さを体感させる
- ・ 自治意識に裏づけられた学級づくり、授業づくりの取組

6. 授業改善の取組・・・・・・・・・・研究委員会

～国語科授業研究～

下記のような授業研究会を行い、子どもたちの国語力の向上と教師の指導力向上をめざします。

研究主題（読む力の育成）

確かな読みの力を培い、自分のおもいや考えを表現できる子どもの育成

—どの子にも確かな読みの力を実現する国語科指導法の改善—

長文（物語文・説明文）を読み、筆者の意見や作者のおもいや考えを正しく理解し、それに対する自分の考えを臆することなく発表できる子、友だちと交流する中でより深い読みに到達し、共に学ぶことに楽しさを感じ、進んで追究しようとする子の育成をめざす。そのためには、

- * 発問・板書・ノート指導など教師の一斉授業の指導技術向上によって、「話す・聞く・書く・読む」などの基本的な学習能力が確実に鍛えられていること。
- * 学習規律として、ステップ4「その場その場の学習課題を理解し、教師の発問や友だちの意見と響き合った発言ができ、自分の活躍についての自己評価ができる」クラスの実現をめざす取り組みを日常的にしていること。
- * 豊かな交流を通して、自分のおもいや考えと友だちの意見との共通点や違いをしっかりと認識し、より深い読みを実現するような授業計画をしていること。
- * 子どもたちの読みが一步深まるような発問の工夫や子どもたちがその発問によってキラキラ輝きだす（活動が活発になる・深く考える）ような、教師としての働きかけが明確になる授業をめざしていること。
- * 子どもの発言や学習の流れに臨機に反応し、そこからおもいや考えが深められる授業ができる教師の力量を高めること

の実現が重要である。

1. 研究の形態

- * 各学年…校内公開授業1回と研究発表での公開授業
- * 国語科以外の公開授業(理科等)
- * 研究は学年部会で行なう
- * 事前研究会…学年部と教務主任・管理職・研究主任
- * 事後研究会…全員

2. 研究計画(授業研究会の予定)

- ① 6月13日(金) 3年は組 鴨脚 昌代 教材「ありの行列」
- ② 6月27日(金) 5年に組 羽田 悦子 教材「千年の釘にいどむ」
- ③ 7月11日(金) 4年は組 藤原 努 教材「白いぼうし」
- ④ 7月17日(木) にじの子学級 松本 柳子 田口 ひろ子
教材 「スピーチをしよう きいて！おしえて！」
- ⑤ 9月12日(金) 2年ろ組 石原 一繁 教材「スイミー」
- ⑥10月24日(金) 6年に組 島野 由紀 教材「やまなし」
- ⑦11月 7日(金) 1年い組 成井 孝子 教材「ずっとずうっと大好きだよ」
- ⑧ 2月5日(木) 5年に組 嘉納 千佳子 教材 「もののとけ方」(理科)

1月23日(金)研究発表会

公開授業

学年・組	教科	単元名・教材名	授業者
育成学級	国語	おはなしをたのしもう ・「てぶくろ」	松本柳子 田口ひろ子
1年は組	国語	おはなしをたのしもう ・「たぬきの糸車」	杉本 保
2年に組	国語	お話を楽しもう ・「お手紙」	倉田 厚子
3年は組	国語	学習したことを生かして ・モチモチの木」	山中 智子
4年い組	国語	学習したことを生かして ・「ごんぎつね」	久保 齋
5年い組	国語	学習したことを生かして ・「大造じいさんとガン」	小幡 昌史
6年い組	国語	学習したことを生かして ・「海の命」	安村 俊輔

3. 研究組織

